



同窓会会報

発行
福島成蹊高等学校
同窓会
福島市上浜町5-10
電話（522）2049
発行人 石井 都
印刷所 ㈲三共印刷所



百周年を機に更に強固な絆を

同窓会会長 石井 都
(昭和41年度卒)

会員の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年の総会は母校の百周年

にちなみ、大正二年の開校から現在までの学校生活の写真の中から選び編集したDVDを流しました。モノクロの授業風景から色鮮やかな男女共学の研修旅行等々、時代の流れ、母校の発展の様子を皆様に見て頂きました。又同窓会に大いなる貢献をして下さった三代目会長丹野リン様、四代目会長渋谷スズイ様に感謝状を贈呈いたしました。お二人のますますの御活躍を祈念しております。総会後は母校吹奏楽部による活気溢れる曲目の数々で、母校百周年を参加者一同心行くまで祝いました。

9月に行われた記念桃李祭には同窓会顧問金子昭七先生の御指導のもと開校から現在までの学校生活を記した写真六百枚程の展示と、当時の生徒作品等を飾りました。数多

くの貴重な品々をお貸し下さった皆様、ありがとうございました。

10月31日、清々しい空気の中、厳かながら華々しく創立百周年式典が挙行されました。中学、高校の生徒会長による誓いの言葉に母校の大きな未来を見出した思いが致しました。この様な記念すべき年に役員として学校に関わる事ができました事は、大変光栄で慶ばしい限りです。これを機に、役員一同更に心を引きしめて会の運営に携わる所存でございます。皆様の御支援、御協力、よろしくお願い致します。



同窓会総会に出席して

菊地美和子

（昭和55年度卒）

昨年に続き2回目の参加ですが、今年は同級生6人で参加させて頂きました。会場では創立以来百年の歴史が大型スクリーンに次々と映し出され、私達が出現した時には、あの頃にタイムスリップし驚きと懐かしさに包まれました。時間の許す限り沢山の方々と会話させて頂きましたが、特に菅原先生とは趣味のお話で意気投合！先生の「木彫り展」を拝見したり、私の「いけばな展」に足を運んで頂いたり、同窓会が新たな交流を生みました。



感謝状の贈呈

初めての出席でしたが百周年記念ということもあり、素敵な思い出となりました。私の時は八十周年記念で、あの有名な歌手福山雅治が来た年でした。あれから20年、先生方も昔と変わらず、楽しい時間を過ごすことができました。ある席では、担任の先生を囲み、ミニ同級会のように、とても楽しそうでした。敷居が高いイメージでしたが、誰もが気軽に参加できる会なので、私も先生を囲みミニ同級会で、ぜひまた参加したいです。

黒井 千恵

（平成4年度卒）



昭和55年度卒の6人



金子先生を囲んで

福島成蹊高等学校同窓会一般会計決算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

1. 収入金額 1,887,273 2. 支出金額 1,581,199 3. 差引金額 306,074

収入の部					(単位：円)	
項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	適用		
会費	1,296,000	1,292,000	△4,000	4,000×323人		
運営協力費	173,360	173,360	0	23年度協力費より		
預金利子	500	133	△367	普通預金利子		
雑収入	300,000	339,000	39,000	総会御芳志・会費等		
繰越金	82,780	82,780	0	前年度より繰入		
合計	1,852,640	1,887,273	34,633			
支出の部						
項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	適用		
事業費	700,000	584,222	△115,778	総会、研修会、桃李祭		
会議費	50,000	28,750	△21,250	役員会、幹事会		
会報発行費	200,000	190,575	△9,425	会報第19号		
協力費	350,000	285,665	△64,335	全国大会祝金、卒業記念品等		
交誼費	20,000	25,475	5,475	慶弔費		
通信費	200,000	174,566	△25,434	切手、名簿補助等		
旅費	3,000	0	△3,000			
事務費	300,000	291,316	△8,684	印刷費、事務用品等		
特別積立費	0	0	0			
予備費	29,640	630	△29,010			
合計	1,852,640	1,581,199	△271,441			

特別積立金（平成25年3月31日現在）10,997,012円 運営協力費（平成25年3月31日現在）170,160円

上記帳簿及び関係書類について監査の結果正確であることを認めます 平成25年4月25日 監事 杉内 文子 木山 律子

24年	4月10日	入学式出席
	14日	定例役員会
	25日	会計監査
5月12日		会報18号発送
		定例役員会
6月9日		墓参（初代校長、4代校長）
		定例役員会
7月14日	10日	同窓会総会開催 （母校ギター部演奏）
8月3日		定例役員会・総会反省会
		臨時役員会
9月9日	5日	百周年記念事業
		会員名簿発行
9月9日		桃李祭
10月13日	25日	会報19号編集会議
11月10日		定例役員会
12月8日		定例役員会
25年		
1月12日		新年会
2月22日		会報19号編集会議
2月31日		新幹事顔合わせ
2月9日		定例役員会
3月15日		会報19号編集会議
3月28日		同窓会入会式
3月1日		卒業式

平成24年度事業報告



世代をつなぐ桃李の絆

福島成蹊学園理事長 鈴木 信也

学校法人福島成蹊学園は、平成25年創立百周年を迎えました。

また、この度の創立百周年記念事業に際しましても、同

大正2年の開学から今日までの社会は激動の百年でした。

立場でご尽力いただきましたこと心から厚くお礼申しあげます。

時代であっても、毎年毎年成蹊を巣立った卒業生は、世代

今後也更に香り高い学園を
目指し努力して参りますので
変わらざるご支援ご協力賜り
ますようお願い申し上げます。

伝統を築きあげてくださいました。



幾世代を越えて
成蹊イズムの教育を

校長 本田哲朗

この度の百周年記念式典は
福島成蹊学園を祝福する意味
で相応しいものであったと
思つて居ります。これも一重
に物心両面に渡り多大なるご
支援を賜りました同窓会の皆
様のお陰であります。また、
準備から当日までに関わられ
た皆様には、心から御礼を申
し上げます。本当に有り難う
ございました。今や、本校の

れ、決して劣るものでは在りません。この事は、進路実績を初めクラブ活動の成果を見れば一目瞭然です。是非皆様のお子様、お孫様を初め関係する方々から、一人でも多くの生徒さんをお預かり致し教育が出来ればと願つて居ります。これからどうぞ宜しくお願い申し上げます。



恩師・作田美代先生が
二十五年度秋の叙勲にて
【旭日单光章】を
を受章されました。

先生は昭和38年から平成10年まで保健体育の教諭として勤務され、体操競技及び新体操の指導者として数多くの生徒達を全国大会に導かれました。

平成25年11月7日東京ブリ
ンスホテルにて伝達式があ
り、午後、皇居にて天皇陛下
に拝謁の栄を賜りました。

「はからずも受章者代表に選ばれて、改めて身の引き締まる感激の時でした」と語って下さいました。先生の益々のご活躍をご期待申し上げます。

学校交流提携校の契約締結

福島成蹊学園専務理事 高橋幸七

百周年記念事業の一つとして、セント・パトリック・リージョナル・ハイスクール（カナダ・バンクーバー）との間で学校交流提携協定の締結が成りました。当校は高校特進コース（一貫は除く）の海外研修旅行において、交流4年目を迎える私立高校です。

締結式には本学園より鈴木理事長と私が臨み、東畑研修団団長・引率教員2名と研修生徒47名、そして締結先の校長・教員や多くの生徒らが見守る和やかな雰囲気の中で進められました。





東儀秀樹氏による記念講演・演奏が「雅楽のこころ 音楽の力」と題して行われました。

式典終了後には、雅楽師東儀秀樹氏による記念講演・演奏が「雅楽のこころ 音楽の力」と題して行われました。

同窓会を代表して石井会長が祝辞を述べられました。

創立百周年記念式典

表彰状・感謝状贈呈者

4世代4兄弟姉妹以上卒業及び在籍
代表 安藤6姉妹 佐藤 セツ 様
代表 早瀬5姉妹 久保 和子 様
代表 栗城4姉妹 渡辺トシ子 様
代表 只浦4兄弟姉妹 豊次 様
代表 森4兄弟姉妹 修一 様

感謝状贈呈者

高額寄付者
小武山華龍 様
富田 マツ 様



富田マツ様



小武山華龍様



佐藤セツ様代理 小柳のぶ様



恩師を囲んで

渡辺きみ子

（昭和48年度卒）

母校が創立百周年という記念すべき年に、恩師の金子先生をお招きして同級会を開催しました。参加人数は、21名でいつものように先生を囲み楽しい集まりになりました。

自分の体調や家族の話聞いて苦楽を共有し合えるのは、「学生時代の気心の知れた仲間だったから」と思いました。暖かい店内でおいしい料理をいただき、

幸せな気分でした。次回も、還暦の年に再会する事を約束しました。



小林由美子

（昭和56年度卒）

50歳を迎えるこの年、平成25年4月27日に、「日本料理・春の里」で同級会を開催しました。鬼が笑うと担任の金子先生にからかわれながらも半年前から準備してきました。

出席者は13名でしたが大声で話し、腹を抱えて笑い、高校時代に戻ったようでした。あの頃と違うのは、様々な状況の中で皆が一生懸命頑張っていることでした。それを共有できたことは貴重な時間であったと思います。

次回幹事を選出し、2、3年のうちに開催を約束し、和やかな中終わりました。

菊田 恵子

（昭和57年度卒）

吉田貴義先生の定年退職のお祝いを兼ねて同級会を開催しました。遠くは広島、大阪、千葉、栃木から駆け付け23名が集いました。ひとえに熱い想いで接してくださった先生の人徳だと思えます。話は尽きずあの頃に戻れた楽しい時間でした。これを機に又再会しましょうと誓い散会しました。



渡辺 奈菜

（平成18年度卒）

成蹊高校卒業以来約7年ぶりの再会でしたが、同級生と会った瞬間に昔の記憶が甦り、とても懐かしく感じました。

また、震災を乗り越え、元気な姿を見ることができて安心しました。同級会当日、幹事が取材した先生方からのビデオレターやタイムカプセルを開けたりして大変盛り上がりしました。初めて幹事をする事になって、いろいろ不安がありました。同級会が「同級会楽しかったよ」という言葉を頂けてとても嬉しかったです。



増子先生を囲んで

千葉 智子

（平成21年度卒）

今年の7月30日に平成21年度に卒業した元3年8組の同級会を開催しました。同日は在学当時にお世話になりました西川先生にもお越しいただき、総勢15名での開催となりました。

卒業後初めての同級会ということもあり、4年ぶりに会う友人も多く、高校時代の思い出話に花を咲かせました。また、副担任を勤めていた

だいた長谷部先生とも電話でお話することができ、楽しい時間を過ごすことができました。



官野 由衣

（平成22年度卒）

1月2日という年始の忙しい時期にもかかわらず、多くの五期生と先生が集まってくださり、成蹊特進五期生同窓会は開催されました。

私達五期生は、卒業後すぐ震災に見舞われてしまったため、このようにみんなで顔を合わせるのは卒業後初めてでした。当時と外見がガラリと変った人もいましたが、会が始まるとみんなあの頃と変わらない様子でなんだかとても懐かしい気持ちになりました。またこのような会を開催し、思い出を語り合えたらと思います。



東畑先生・長南先生と共に

平成二十五年進路状況

進路指導部長 二瓶 貴之

今年度の入試は全国的に安全志向が強く弱気の出願が目立つ入試になりました。これは、次年度からの新カリキュラム入試が影響しており、今年必ず決めたいという受験生の心理が反映されたためです。本校においては、各コース共に現時点で例年並みに推移しております。なかでも、普通文理国公立コースから初めて新潟大、岩手大をはじめ、慶應義塾大環境情報学部へ合格者を輩出できたこと、また普通コースから福島市役所への内定者を輩出できたことは大きな喜びです。そして七年連続で就職内定率100%を達成することができました。これらのことは後輩諸君に勇気と希望を与え、創立百周年記念の卒業生として本校の歴史に新たな足跡を残してくれました。今後は一般入試が本格化してまいります。安全志向が強い入試となり例年と同様に考える訳にはいきませんが、桃李の精神の下で培った力を生徒達は十分に発揮し、合格の二文字を掴み取ってくれると期待しております。

平成25年度 進路状況

平成26年2月12日現在（一部の学校のみ記載）

国 公 立 大	10名	東北大、新潟大4名、岩手大、福島大4名
文部科学省管轄外の大学校等	12名	防衛大学校9名、防衛医科大学校医学教育学部看護学科、航空保安大学校、海上保安学校
私 立 大	204名	慶應義塾大、中央大、成蹊大2名、成城大、東京女子大、日本女子大2名、日本大12名、東洋大2名、専修大3名、芝浦工業大2名、武蔵野大6名、玉川大2名、文教大、獨協大5名、神奈川大20名、国際医療福祉大21名、東北学院大11名、東京薬科大、昭和大、北里大2名、東北薬科大2名、東北福祉大3名、大東文化大、帝京大3名、東海大4名、東京家政大3名、白鷗大26名 ほか
短 期 大 学	32名	桜の聖母短大12名、福島学院大短大部11名、立教女学院短大、仙台青葉学院短大2名、東京女子体育大短大部 ほか
看護医療専門学校	10名	東北大学歯学部附属歯科技工士学校、福島県立総合衛生学院、大原看護専門学校4名、福島看護専門学校2名 ほか
専 門 学 校	37名	郡山情報ビジネス専門学校2名、仙台医療福祉専門学校2名、仙台ビューティーアート専門学校 ほか
就 職 内 定 者	10名	福島市職員（初級）、福島県警察官、自衛隊一般曹候補士、(株)ニッテク、(株)山村無線、(株)エスアンドシー ほか

平成24年度 合格状況

（一部の学校のみ記載）

国 公 立 大	67名	福島県立医大医学部、東京工業大、東北大3名、電気通信大、宇都宮大2名、新潟大7名、茨城大、福島大18名、山形大6名、山口大、上越教育大、琉球大2名、北見工業大2名、高崎経済大、会津大2名、宮城大、新潟県立大4名、岩手県立大、秋田県立大2名、青森公立大、釧路公立大4名、名寄市立大、公立はこだて未来大、福井県立大、兵庫県立大、名桜大
文部科学省管轄外の大学校等	32名	防衛大学校15名、国立看護大学校、航空保安大学校3名、水産大学校、防衛医科大学校附属高等看護学院6名、海上保安学校6名
私 立 大	542名	慶應義塾大2名、早稲田大、東京理科大12名、明治大5名、立教大2名、中央大4名、法政大8名、同志社大、立命館大2名、関西大、成蹊大2名、日本大31名、東洋大、駒澤大5名、専修大16名、国際医療福祉大11名、東北学院大27名、東北福祉大8名 ほか
短 期 大 学	27名	桜の聖母短大9名、福島学院大短大部7名、郡山女子大短大部、仙台青葉学院短大4名、埼玉女子短大2名 ほか
看護医療専門学校	12名	福島県立総合衛生学院6名、大原看護専門学校5名、福島看護専門学校4名、ポラリス保健看護学院、東京都済生会看護専門学校、ほか
専 門 学 校	65名	郡山情報ビジネス専門学校6名、東北文化学園専門学校4名、国際ビューティーファッション専門学校3名 ほか
就 職 内 定 者	12名	自衛隊一般曹候補士、佐川急便(株)、アイテック(株)、(株)ニッテク、(株)山村無線、(株)ハシドラック ほか

キャンパスライフ

福島大学経済学部



益田 祥秀
(平成23年度卒)

私のキャンパスライフは充実しています。自分の関心のある授業を受けることができ、授業以外ではサークル活動でストリートダンスをやっています。サークルは週4日と大変ですがうまく勉強と両立して楽しんでいます。そして大学にはいろんな人達がいて日々様々な刺激を受けて成長できて居ると思います。今後でも大学で更に成長したいです。



山形大学農学部
益田 明佳
(平成24年度卒)

山形という違う地域の生活には大分慣れました。自由があるので、勉強やアルバイト、部活、遊びなど自分で計画的に考えて過すのはなかなか大変ですが充実感があり、とても楽しいものです。2年次からキャンパスが移行になるのでテストが増え忙しさが増しましたが良い経験になります。

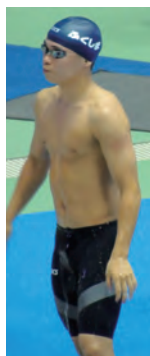
在校生の活動状況について

初の全国制覇！水泳部

顧問 大竹 渉

今年度水泳部は、男子7名、女子6名の少数精鋭で活動を続け、8名の選手が全国インターハイ（長崎県）に駒を進めることができました。

また、9月上旬に開催された「スポーツ祭東京2013（東京国体）」にも、男子3名が参加しました。その中で1年生の服部翼選手が、少年B一〇〇Mバタフライで優勝することができました。成蹊高校史上初の個人種目での全国制覇を、百周年という記念すべき年に達成できたことは、何よりの喜びです。また服部選手は一〇〇M自由形でも4位に入賞、同じく1年生の加藤樹選手は、二〇〇M個人メドレーで4位に入賞するとともに、両名は四〇〇Mメドレーリレーでも、3位入賞の原動力となりました（本校ホームページにも情報がありますのでご覧下さい）。



これらの結果を残すことができたのは、同窓会の皆様をはじめ、多くの方々からのご支援のお陰であると感謝しております。この気持ちを忘れずに、今後も活動していきたいと思っています。

フエンシング

特別活動部部长 菅野 智浩

2年生の佐々木陽菜さんはフエンシング競技で現在活躍中の選手です。2年連続でインターハイに出場、全国第2位の実力の持ち主です。

小学生の頃から家族ぐるみで競技に取り組み、国内は勿論、国際大会への出場の経験も豊富です。

学校にフエンシング部がないため、中学校までは、外部の体育館を探しての練習が続きました。高校入学後は本校体育館の空きスペースを利用する事で、以前よりは幾分計画的に練習できるようになり、また、他の部活動の練習の様子が本人の励みにもなっているそうです。

10月には、今年から編成されたジュニアアナショナルチームに選出され、



定期的な合宿と国際大会を経て、4月にブルガリア・ソフィアで開催される世界ジュニア選手権を目指しています。益々の活躍を期待しています。

ソフトボール部

顧問 齊藤 純一

現在、ソフトボール部は、2年生4名、1年生8名の計12名で活動しております。活動場所は第2グラウンドを使用しています。

チームの目標は「インターハイ県大会ベスト8」です。5月に行われたインターハイ県北大会では8位となり、県大会出場を果たしましたが、県大会は1回戦敗退でした。また、新人戦県北大会は5位で県大会出場を果たしましたが、県大会は1回戦敗退でした。10月には県の私学大会に出場し、貴重な経験を積むことができました。

チームのモットーは「努力・誠実・感謝」です。部活動を通して技術の向上はもちろん、挨拶や礼儀など、人としても成長できるように、日々練習に励んでおります。



卓球部

顧問 佐藤 大吉

卓球部は現在、女子7名、男子2名で活動しています。

卓球部女子の主な大会結果は、平成23年度の県総体の県北予選で団体が準優勝、シングルスは優勝することが出来ました。新人戦の県北予選も団体は準優勝、県大会は、団体は5位、ダブルスでベスト8に入りました。

平成24年度も、インターハイ、県総体、新人戦の県北予選で団体は準優勝することができました。新人戦の県大会は団体が3位に入りました。インターハイでは、シングルスで東北大会に出場することができました。

平成25年度も、インターハイ、県総体、新人戦の県北予選で団体は準優勝することができました。インターハイでは、シングルスとダブルスで2年連続、東北大会に出場することができました。

東北大会に団体で出場することを目標に日々、練習をしています。



自然科学部

顧問 山本 剛

自然科学部は、昨年度より、本校近くの茶屋沼や松川にて微小生物の観察に取り組んでいます。生徒たちからの「原発事故後の身近な環境にどんな変化が見られるのか」という疑問から研究がスタートし、生徒たち自身が現地実習を重ね疑問に感じたことをコツコツまとめてきました。研究については、福島大学（難波謙二教授）、島根大学（大谷修司教授）の先生方と連携しながら、生徒たちが疑問に思ったことをそのまま大学の先生方にも伝え、メールを活用したり、大学に直接訪問したりしながら研究を進めました。今年度は、さらに研究発表にも挑戦しました。自分たちで作成したポスターやスライドを活用し、同年代の高校生と研究発表にて競い合い、自分たちが研究したことを相手に伝えることの難しさとその重要性について、深く考え、生徒たち自身大きく成長することのできる活動となりました。これまでの活動において、御支援・御協力いただいたすべての方々に深く感謝致します。本当にありがとうございます。



旧校章

新校章

成蹊同窓会は永遠に

福島成蹊学園参事

金子 昭七



同窓会の皆様のご支援を賜り、創立百周年の式典を滞りなく実施することができました。誠にありがとうございます。学校の歴史に触れる中で、その重みは増すばかりでした。桃李祭では創立期（百年前）に学んだ方の在学時に作製した和服アンサンブル（川俣シルクの生地）の展示、そして、今年百周年にして初めての全国一（水泳・国体優勝）と百周年に華を添えていただきました。さらに女学校時代の校旗が忽然と現れ、これを修復し学校の宝として保存したいと思っています。

百周年を契機に同窓会の活動と団結が一層強まり、ますます発展することを願います。御礼いたします。



女学校時代の校旗

新幹事

一組 二組 三組 四組 五組 六組 七組 八組 九組 十組 十一組

菅佐長 浦紺鶴 太石渡 佐日阿 穴赤齋 西野佐 岡菅河 櫻
生藤井 野野川 田井部 藤下曾 戸井藤 坂地藤 崎野野 井
光美佑 幸美舞 汐彩史 智万祐 祐帆昂 大伽朗 航早拓
由宮 紀平 奈桜 未音 人織 脩美 介希 介波 文輝 美子 亮紀 摩

平成26年度 総会のお知らせ

- 日時／平成26年6月15日（日）午前10時30分～
- 場所／ホテル福島グリーンパレス
- 内容／総会 懇親会
昭和23年度卒（アトラクション・森 和美（吉森和子）「おばあちゃんの昔話」）
- 会費／4,000円
- 問い合わせ先／福島成蹊高等学校
同窓会事務局 TEL 024-522-2049

事務局だより

会報20号は昭和27・37・47・57・平成5・10・15年度卒業の皆様を送付いたします。今後も卒業年度を追って順次送付する予定です。皆様にご協力いただき

ました運営協力費は会報送付等に使わせていただいております。引き続きご協力をお願いいたします。また、百周年記念グッズについて、ご購入いただき、有難うございました。今年度を持ち

まして販売を終了いたします。

クラス会開催の際は、名簿を事務局に提出して下さい。通信費として二千円を補助いたします。

南校舎建設募金状況について

南校舎建設募金に対しましては、皆様方から多大なるご寄付を戴き感謝申し上げます。平成25年2月から募金活動が開始されました。現在までの中間報告をさせていただきます。なお、平成28年6月まで行っております。ご協力よろしく

募金額実績

（平成26年1月6日現在）

募金目標額 五、〇〇〇万円
募金実績 三、七三二万円
同窓会目標額 五〇〇万円
同窓会実績 四七六万円
同窓会募金件数（二九九件）

退職される先生方

教諭 遠藤 明子
教諭 成田 憲永
教諭 橋本 徳治

編集後記

百周年記念と共に20号を発行する事が出来ました。今後も新しい企画の会報を発行出来そうです。努力いたしますので、忌憚ないご意見をお寄せ下さい。